

世界を駆ける日本舞踊家、藤間裕志朗先生インタビュー

日舞で身につく、人生の極意

Q 日本舞踊の魅力って何ですか？

日舞は、人や動物、自然、過去の記憶や心の動きなど、すべてのものに思いを馳せ、情景を読み解いて一人で何役も演じるの。広い視野で物事を捉える奥深さが、日本舞踊の特徴ね。それに、日舞は日常の動きを舞の形にしていくから普段の仕草も無駄のない洗練されたものになるのよ。「品(しな)良く踊れ」って教えるのだけれど、品とは、品格を持ったしなやかさのこと。凜とした心をしっかり持ちつつも、周囲と和して柳のように柔らかく生きる姿勢は、私達が生きていくうえで最も大切なもの。そんな人生の極意が、日舞には詰まっているのよ。

Q 日本舞踊を身につけると、どんな良さがありますか？

役柄を通して養われた、人や自然を思いやる豊かな心はとても大切よ。

Q お稽古を始めたお弟子さん達に、変化はありますか？

日舞は多くの人の人生を疑似体験するので、ひとつの考え方に固執していた人も、「こういう見方や考え方もあるのだ」と、違う角度から物事を捉えられるようになる。古典の伝統文化を舞を通して学び、精神性も高く

Q 裕志朗先生の今後の抱負を教えてください。

短期的には、2020年の東京オリンピックのスタジアムで「わっしょい百万踊り」を披露すること。長期展望は「エステやマッサージに通うように、みんなが日舞に通う」。それくらい日舞を暮らしに根付かせたいということよ。日舞には、間合いや気配を読む武道や武士の魂にも通じるものがあるの。日舞で養った日本人としての気力や体力を武器に、明日へ羽ばたく人をたくさん育てる。これが私のミッションなの。

舞いの情景を読み解くことで場の空気を読み、自分の感情もコントロールできるようにするのが、日舞には体力も必要だから、身体の鍛錬になるのももちろん、自分の体と向き合ってるの。二つ二つを意識する習慣がつくので、腰痛や肩こりが気にならなくなると喜ぶお弟子さんも多いのよ。自分の思いや考えを伝える表現力は、仕事や家庭でもプラスになるし、エレガントな仕草や考え方は人に好かれる重要な要素なので、男性も女性もぜひ身につけて欲しい。



日本舞踊 藤間流・師範
ふじま ゆうしろう
藤間 裕志朗先生
北九州出身。29歳で日本舞踊・藤間流入門、49歳で師範となり「裕志朗の会」を設立。以降、多くの門弟を育てながら、北九州を代表する祭り「わっしょい百万夏祭り」の百万踊り・創作部門で3度のグランプリ受賞ほか、2013年には新曲「いいっちゃ ええっちゃ 北九州」の振り付けを手がけるなど地域貢献にも尽力。フランスやイタリア、オランダ、韓国等で日舞を披露するなど、海外での公演交流活動も目まぐるしい。

撮影：川村剛弘

「裕志朗の会」は楽しいイベント盛りだくさん！国内にとどまらず、世界を舞台に活動。



教室案内 | 福岡市・東京・鎌倉教室もあり、詳細はHPへ。

◆小倉教室1◆

- 場所／北九州市立男女共同参画センタームーブ9F 小4練習室 (北九州市小倉北区大手町11-4)
- 練習日／毎週木曜 12:00～22:00 (1回約50分)
- 月謝／月4回…10,000円

◆小倉教室2◆

- 場所／藤間裕志朗 自宅教室 (北九州市小倉北区高尾1-37-8) 駐車スペース有
- 練習日／毎週月曜・火曜・金曜10:00～22:00 (1回約50分)
- 月謝／月4回…10,000円

※必要なもの…浴衣、帯、足袋、腰紐3本、タオル1枚
※個人レッスン、回数応相談、振替可能、見学は随時可能(各教室共通)

生徒の声 | 裕志朗の会に通うメンバーの声をお届けします！



えざと あつし
江里 篤志さん

自分には縁遠いものだと思い込んでいた日舞の世界。体験することにより、自分の価値観・物事の考え方・日々の生活・仕事への姿勢、新しい自分に出会うきっかけになりました。



ひらかわ まさこ
平川 雅子さん

習い始めて変わったことは、毎日が楽しくなったことです。大変な仕事や嫌なことがあったとしても、乗り越えられるようになりました。自分の中にどっしりとした何かが増えたようです。



なかお なみ
中尾 菜海さん

踊りに型はあるが、振りから時代背景や心晴れで教えてもらったあとは、舞い手が感じるままに心で踊る。毎回「他者を理解する」ということを舞を通じて学ぶため、人との関わり方に変化がでてきたように感じています。

日本舞踊藤間流「裕志朗の会」

http://www.fujima-yushiro.net/ 裕志朗 検索 TEL 093-591-8959

